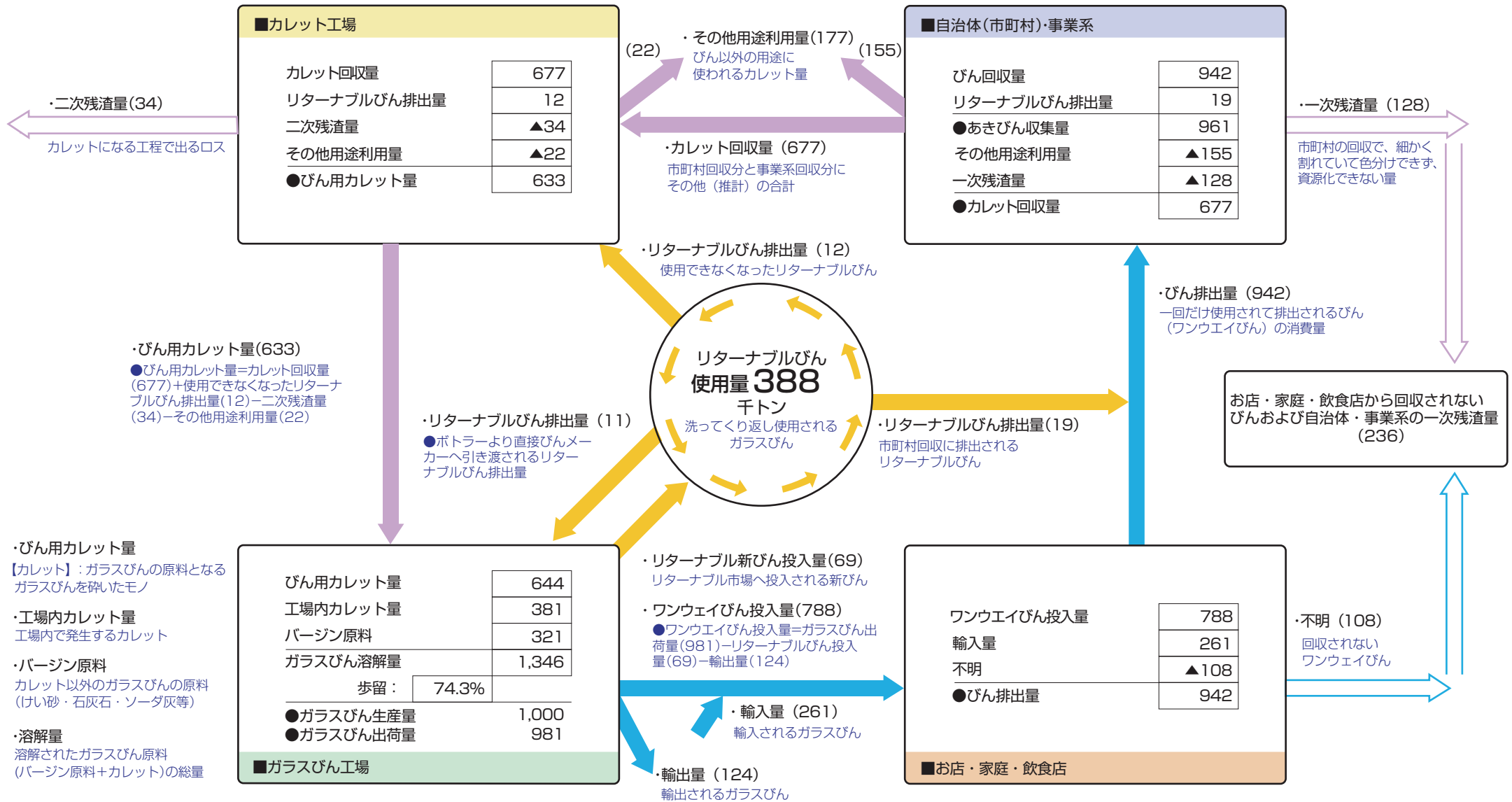


➡ リターナブルびんの流れ    ➡ ワンウェイびんの流れ    ➡ カレットの流れ

単位：千トン  
\*四捨五入による端数差異があります



■ カレット利用率 = (工場カレット量(381千トン) + びん用カレット量(644千トン)) ÷ ガラスびん溶解量(1,346千トン) = 76.1%

■ リサイクル率 = (再商品化量(821千トン) ・ ・ びん用カレット量 + その他用途利用量) ÷ (国内出荷量(1,118千トン) ・ ・ ガラスびん出荷量 - 輸出量 + 輸入量) = 73.4%

\* 新カレット利用率: 平成 28 年 4 月 1 日経済産業省 資源有効利用促進法に基づく判断基準省令改正により、当協議会で従来から使用していたカレット使用率が新しいカレット利用率の定義に変更されました。